

## 中区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
中区魅力発信事業		中区役所企画総務課			
事業目的	事業内容	活動指標	R1	R2	R3
市の伝統産業・地域資源の魅力を区内外へ広く発信し、文化芸術に触れる機会を提供する。これにより、歴史文化資源を身近に感じてもらい、もって、区民の地域への愛着を深めてもらう。	(1)市の伝統産業である注染製品の販売会・特別展示を開催する。 (2)区の地域資源を会場に、文化発信イベントを開催する。	(1)販売会の満足度 (アンケート結果)	—	79%	89%
		(1)販売会における購買者数	88%	644人	218人
		(2)来場者数と満足度(アンケート結果)	—	—	—
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○ (1) 市の伝統産業である注染・和晒の魅力の発信に寄与するため、区が事業を実施する妥当性が高い。	○ (1) 協同組合オリセンや堺注染和晒興業会等と連携し、販売会・展示の企画・開催を行った。	○ (1) 市の伝統産業である注染・和晒の製品を実際に手にとって見てもらえる良い機会であり、区民だけでなく区域外の方にも広くPRできた。 注染の浴衣反物、日傘などに加え、著名なデザイナーによる斬新な柄の手拭いの展示数を増やし、男女のマネキンの浴衣姿を展示したことで、新たな魅力を発信できた。	○	(1) 展示用の注染製品や衣文掛けなどの展示用品について、協同組合オリセンや堺注染和晒興業会、(公財)堺市産業振興センターの協力を得て無償で借用するなど、経費の支出を抑えつつ、高い効果を挙げる事ができた。	
⑤自立発展性	総合評価				
◎ (1) 本事業は、伝統産業の担い手に販売の機会を与えるものであり、さらなる発展に寄与している。	○ (1) 前年度に比べるとマスク需要の減少からか、購買者・売上とも下がったが、手ぬぐいやマスク、ハンカチ等の柄や種類が昨年度よりも豊富になり、満足度は向上したと思われる。また、初めて日曜窓口の開催日に実施したことで、家族連れの方にも喜んでいただけた。 (2) 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、文化発信イベントは中止することとした。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
継続	(1) 今年度は日曜に開催することで購買者を増やすことを狙ったが、伸び悩んだ。今後購買者を増やすには、業界が新たなニーズを汲み取り、機動的に対応する必要がある。区としては、販売商品の拡大や販売方法の工夫・改善などの提案を積極的に行うことで、伝統産業の振興に寄与していく。 (2) 新型コロナウイルス感染症をとりまく環境・財政状況を踏まえ、今後の事業内容を検討していく。				